

【2024年6月本委員会検討単語】 創作手話…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

時事用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1 キャスト(cast)	<p>① 演劇・映画・テレビドラマなどの配役。また、配役を決めること。(例:「オールスターキャスト」「ミスマスターキャスト」など)</p> <p>② 釣りで、釣り糸や餌を投げ入れること。</p> <p>③ あるコンピューターから別のコンピューターにデータを送信すること。(例:「ブロードキャスト」など)</p> <p>④ コンピューターのプログラムで、変換のこと。</p>	<p>複数の意味がある。今回は①についての検討を。</p>	北海道	ア	スタッフの指文字「す」を「き」に変更	● 組み合わせ	<p>9班の案は「演劇」をベースにさまざまあったが、「配役」の意味にもっとも近いものとして北信越班の案が良いということ。</p> <p>⇒<演劇>+左手残して、右手<責任・役割・担当></p> <p>※北信越班の案を採用</p>
			東北	●	左手の指文字「キ」+ 逆向きに立てた右手拳の向きをかえながら前後に移動する「劇」		
			関東	●	「芝居」+「役」		
			北信越	保	「劇」+「担当」(富山で使われている)		
			東海	ア	指文字「き」で芸		
			近畿	◎			
			中国	●	劇 + 設置		
			四国	●	両手で/c/ で/演劇/		
			九州	◎	胸元でCをつくり表現		
2 エキストラ	<p>① 映画やテレビで、群衆・通行人などの役を演じる臨時雇いの出演者。</p> <p>② 特別なこと。臨時のもの。(例:「エキストラライニング」「エキストラホール」など)</p>		北海道	●	臨時 + 芝居	ア● アレンジとの組み合わせ	<p>テレビで見る通行人のイメージが強いのだろう、ということで、関東班の案を採用。テレビのイメージから「にぎやか」を横に動かす案も出たが、「あいまい」「ほやける」などに似ているので紛らわしいとの意見があり却下された。</p> <p>⇒<演劇>+指をバラバラ動かしながらくにぎやか<(前後の動作で、<にぎやか>のアレンジ)></p> <p>※関東班の案を採用</p>
			東北	●	左手の指文字「エ」+ 逆向きに立てた右手拳の向きをかえながら前後に移動する「劇」		
			関東	◎	「芝居」+ 指先を動かしながらくにぎわい		
			北信越	○	①仮 + 演劇 ②右手指文字「エ」+ 特別		
			東海	ア	指文字「え」で「特別」		
			近畿	○	両手を左右に交差させる		
			中国	●	臨時 + 設置 + 設置 + 設置		
			四国	●	/演劇/ + 右手5指で通り過ぎる様子		
			九州	●	非利き手は指文字「え」+ 利き手は「グー」		
3 ~家(作家、建築家、芸術家、脚本家……)	<p>2024年2月の本委員会にて「専門家」を検討する際に、一応の確定をしましたが、「改めて、2024年度に9班からの意見を聞いて再検討しよう」と研究課題としました。</p> <p>2023年度確定…<専門家(男または女)>(専門+男(または女))</p>	<p><専門>+<家>を使う人も多い。また、男女に関わらない人差し指を立てる動作は、数詞<1>とまぎらわしいとして、どちらも本委員会では却下されました。男女に関わらない表現をどうするか?検討してください。※一方で、LGBTQに対応する表現を取り入れつつも、<男><女>は日本の伝統的な手話なので、大切にしたい、という意見もあります。</p>	北海道	△	「家」に追加	<p><〇〇家> △ ラベル追加 <専門家B> ● 組み合わせ</p>	<p>9班からの案を見ると、<男>または<女>の表現が多いが、<家>の表現をする班もある。実際に<家>を使う者もおり、<家>に<〇〇家>のラベルを追加することに。<家>(いえ)と区別するため、少し強調するように表す。また、わかりやすくするため、2023年度に確定した表現を<専門家A>とし、今回の表現を<専門家B>とした。</p> <p><〇〇家> ⇒<家>と同じ</p> <p><専門家B> ⇒<専門>+<家>・<〇〇家> ※北海道班・四国班①の案を採用</p>
			東北	●	両手人差し指と中指を向かい合わせ、指先を下から前に向ける +<男>		
			関東	◎	指先を前に向けた右手を左手掌の上から前へ出す		
			北信越	保	専門 + 男または女(そのまま)		
			東海	△	男、女に同じ		
			近畿	○	親指を立てて、もう一方の手ひらの上を滑らせる		
			中国	●	男		
			四国	△	①/家/ ②又は/人々/		
			九州	保	まっすぐ		
4 ヒートショック	<p>急激な温度変化により急激に血圧が上下することで、心筋梗塞や不整脈、脳出血・脳梗塞などの発作を起こすこと。(総合東京病院HPより)</p> <p>「寒い時期のヒートショック予防」 ・脱衣所やトイレを温める ・入浴は40度未満のぬるめのお湯に入り、長湯を避ける ・冷え込む深夜ではなく、早めの時間に入浴するように心がけ、心臓病や高血圧の人には半身浴を勧める。 ・肩が寒いときは、お湯で温めたタオルをかける。 など</p>		北海道	◎	「温度」+ 左掌につぼめた右手を当てる	ア● アレンジとの組み合わせ	<p>9班の案を見ると、「心臓停止」の表現があるが、心臓が止まる表現は、死亡の状態と同じなので避けた。「ヒートショック」は、急激な温度変化が原因で起こるさまざまな発作を起こすことなので、温度変化を表す手話と、<発作>を組み合わせることに。2019年度に確定した<アナフィラキシーショック>(＜アレルギー＞+＜発作＞)を参考にした。</p> <p>⇒<気温>を大きく上下に1回裏す+<発作> (1動作目は<気温>のアレンジ)</p> <p>※班の案を採用なし</p>
			東北	●	立てた左手掌に右手人差し指をつけて下に向け、ゆっくり下げる + 両手の立てた指の背を左右から近づけてぶつけ合う		
			関東	◎	右人差し指を上下して「温度」+ 左腕の上に右手握り拳を置き肩をすくめる(血管が縮む感じ)		
			北信越	●	気温が「上がる」「下がる」+ 心停止		
			東海	○	温度 + 心臓停止		
			近畿	●	温度計の指針が急に下がる様子		
			中国	●	温度上がりさがり 心臓止まる		
			四国	●	/温度が下がる/ + /ショック/		
			九州	●	温度(上下) + 心臓		
5 セロトニン	<p>神経伝達物質の一種で、精神を安定させて幸福感を得やすくする作用があるため、幸せホルモンとも呼ばれている。</p> <p>セロトニンには、恐怖に影響する神経伝達物質のノルアドレナリンや快楽に関連する神経伝達物質のドーパミンなどを制御し、精神状態を安定にする働きがあります(サントリーウェルネスオンラインより)</p>		北海道	ア	「ホルモン」の右手をCに変更	ア アレンジ	<p>9班の案を見ると、意味に合わせた表現、一定ルールを決めた表現に分かれている。<鉄><セシウム>などの「元素」表現のように、神経伝達物質を表す表現ルールを考案しようということ意見がまとまった。<ホルモン>の左手をそのまま、右手でその物質の英語名の頭文字をあてることに。</p> <p>⇒右手「C」で<ホルモン>の動作<(＜ホルモン＞のアレンジ)></p> <p>※北海道班の案を採用</p>
			東北	●	左手の指文字「セ」+<薬>		
			関東	◎	錠剤をのむ仕草 + 両手「コ」の形で小指側を耳の位置に置き、同時にゆっくり下げる		
			北信越	●	神経 + 調節		
			東海	◎	ホルモンの指文字「ほ」に指文字「せ」を当てる		
			近畿	ア	幸せ + ホルモン		
			中国	●	幸せ + ホルモン		
			四国	○	左手で指文字セ/ + 右手で指文字を続ける		
			九州	●	脳 + 幸せ + バランス		
6 ドーパミン	<p>快感や多幸感を得る、意欲を作ったり感じたりする、運動調節に関連する、といった機能を担う脳内ホルモンの一つです。(東邦大学医療センター大森病院 臨床検査部HPより)</p>		北海道	ア	「ホルモン」の右手をDに変更	ア アレンジ	<p><セロトニン>と同様に。</p> <p>⇒右手「D」で<ホルモン>の動作<(＜ホルモン＞のアレンジ)></p> <p>※北海道班の案を採用</p>
			東北	●	左手の指文字「ド」+<薬>		
			関東	●	「気分がよい、満足」+ 両手「ハ」の形を指先前で向い合せ、交互に動かす(機能)		
			北信越	●	こめかみのあたりで「d」+「神経」の右手の動き		
			東海	◎	ホルモンの指文字「ほ」に指文字「ど」を当てる		
			近畿	ア	明るい + ホルモン		
			中国	●	鍛える + ホルモン		
			四国	○	左手で指文字ド/+右手で指文字を続ける		
			九州	●	脳 + メラメラ		
7 オキシトシン	<p>家族やパートナーとのスキンシップや信頼関係に深くかかわるホルモン。本来はママの母乳を出すためのものですが、嬉しい、楽しい、気持ちいいと感じた時に脳で作られる。(kao スリーズHPより:臨床発達心理士/桜美林大学教授山口 創先生)</p>		北海道	ア	「ホルモン」の右手をOに変更	<p><オキシトシン> ア アレンジ <アドレナリン> ア アレンジ</p>	<p><セロトニン><ドーパミン>と同様に。</p> <p><オキシトシン> ⇒右手「O」で<ホルモン>の動作<(＜ホルモン＞のアレンジ)> ※北海道班の案を採用</p> <p>合わせて「アドレナリン」も検討した。<アドレナリン> ⇒右手「A」で<ホルモン>の動作<(＜ホルモン＞のアレンジ)></p>
			東北	●	左手の指文字「オ」+<薬>		
			関東	●	「親しい」+「機能」		
			北信越	●	こめかみのあたりで「do」+「神経」の右手の動き		
			東海	◎	ホルモンの指文字「ほ」に指文字「お」を当てる		
			近畿	ア	スキンシップ + ホルモン		
			中国	●	快感 + ホルモン		
			四国	○	左手で指文字オ/+右手で指文字を続ける		
			九州	●	脳 + 抱きしめる(だっこ)		

8	キャパオーバー	和製英語のキャパシティオーバーをさらに略した言葉で、仕事に対する処理能力や許容量を超えた状態を指します。ごく軽い意味から深刻な状況まで、ビジネスではよく使われる。ビジネスにとっても、個人にとってもリスクになる半面、自分の能力以上の目標に挑戦することが成長につながる側面があり、キャパオーバーを回避することが一概にプラスになるとはいえない。(マイナビエージェントより)		北海道	●	上限(超える) + 参る	<頭がいっぱい> 保 保存手話 <キャパオーバー> ● 組み合わせ	9案の案の中に見られる「頭がいっぱい」をイメージする表現の、標準手話のラベルがないことに気づいた。 <頭がいっぱい> ⇒指を伸ばした右手の人差指側を額の左から右へ位置を変えて3回あてる (『新 日本語—手話辞典』の(いっぱい④)の動作。あてる回数、強弱、表情などの工夫を) <キャパオーバー> ⇒<頭がいっぱい> + <オーバー・過度> ※中国語の案を採用
				東北	●	親指側をつけた両手を左右へ水平に引き離す + <オーバー (過大等) >		
				関東	◎	右手親指側を左から右に数回前頭部につける (役割がたくさんある意味)		
				北信越	●	頭の中がいっぱい + パー		
				東海	●	上限 + 超える		
				近畿	ア	オーバー + 頭が爆発する様子		
				中国	●	いっぱい + 超える		
				四国	●	両手で/壁/を作り それを/超える/		
				九州	●	(位置:おでこ) いっぱい + オーバー		
9	マジ	[形動]「まじめ」の略。本気であるさま。本当であるさま。(例:「マジな話」「マジ、うざい」など)(小学館 デジタル大辞泉より)		北海道	△	本当、真面目の両方に追加	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、8班が同じ表現。自分が答えるとき、相手に「マジ?」と尋ねるとき、表情が変わる。 ⇒<本当>と同じ(1回あてる) ※北海道班・東北班・北信越班・東海班・近畿班・中国語班・四国班・九州班の案を採用
				東北	◎	<本当>		
				関東	保	摘まんだ2指を胸から上げて外に出す。強い「真面目」		
				北信越	ア	本当		
				東海	△	本当と同じ		
				近畿	△	本当		
				中国	保	ほんま表情付き		
				四国	△	/本当/		
				九州	保	①本当 / ②片手で真面目(2回)		
10	医者の不養生	人に養生を勧める医者が、自分は健康に注意しないこと。正しいとわかっていながら自分では実行しないことのため。(デジタル大辞泉(小学館)より引用) 頭では正しいと思っていながら、自分ではその通りに行動しないことをいい。本来は職業に関わりなく使われる言葉だが、「医者」という言葉が使われていることから、医師や専門職などに使われる傾向がある。		北海道	✕		● 組み合わせ	9班の案を見ると、いろんな案があり、工夫・苦勞されたことがうかがえる。その中で、もっとも意味に近いのは近畿班の表現。 ⇒<医者> + <保養> + 続けて<手落ち> (右手を前方にたおす) ※近畿班の案を参考
				東北	保	<医師> + 右手5指の親指を鼻にあて、不快な表情		
				関東	●	「医者」 + 「不注意」		
				北信越	●	医者 + 注意がない		
				東海	●	言う + 曲がる		
				近畿	ア	医者 + 手落ち		
				中国	●	医者 + つまらない		
				四国	●	/医者/ + /病気/ + /しまった/		
				九州	●	医者 + 二枚舌		
11	粘り強い	根気や忍耐力がありなかなか諦めないさま、よく耐え忍ぶさまなどを意味する表現。(実用日本語表現辞典より)(例:「粘り強い性格」「粘り強い交渉」など)参考:「根気強い」…どんな困難や辛いことがあっても耐え忍び、心ゆらぐことなくやり続けること。		北海道	ア	努力を強く二回	<粘り強い(交渉など)> 保 保存手話 <粘り強い(試合など)> 保 保存手話 <粘り強い(試験などに落ちる)> 保 保存手話	9班の案を見ると、場面に応じたさまざまな表現案があることがわかった。「粘り強く交渉する」「粘り強く競技をする」「粘り強く試験や面接を受ける」という3場面は保存手話で以前から見られるので、標準手話として確定したい。 <粘り強い(交渉など)> ⇒<交渉>を強く繰り返す(位置関係は状況に合わせて変ず) ※北信越班の案を採用 <粘り強い(試合など)> ⇒<試合>を斜めに前後する動作を繰り返す(位置関係は状況に合わせて変ず) ※北信越班の案を採用 <粘り強い(試験などに落ちる)> ⇒<落選>を少し右にずらしながら繰り返す ※班の案になし
				東北	保	立てた右手親指の指先を押し下げる + 右手の指文字「モ」		
				関東	●	「がまん」 + 「真っ直ぐ」		
				北信越	保	単語 + 表情(粘り強さは表情で表現)		
				東海	△	続けるに同じ		
				近畿	●	(場面に応じて使い分け) ①努力する ②頑張る ③我慢する		
				中国	保	粘り		
				四国	△	/努力/ 又は/我慢する/ /諦めない/ など表情重視		
				九州	●	我慢(片手) + 強い		
12	持ちつ持たれつ	主に、人間関係や企業同士の関係性を表す時に使われる言葉で、「互いに支援し合い、助けたり助けられたりして互いの地位や関係が続いているさま」(実用日本語表現辞典より) 同義語:「ギブアンドテイク」「共存共栄」など。相手が助けを求めている時に快く手を差し伸べ、逆に自分が助けてほしい時にさっと手を差し伸べてくれる。		北海道	ア	「共有」の両手を持つで表現	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、ほとんどが同じ表現。<協力し合う>で、各1回あてる班と、各2回あてる班に分かれているが、各1回あてることを基本とする。 ⇒<協力し合う>と同じ(各1回) ※東北班・関東班・北信越班・近畿班・四国班の案を採用
				東北	●	<助け合う>		
				関東	保	「協力」の右手を手前と向う側から1度ずつゆっくり		
				北信越	●	助ける + 助けられる		
				東海	△	お互いに同じ		
				近畿	ア	助け合う		
				中国	●	助け合い + お互い		
				四国	ア	/助け合う/ の表現をゆっくり丁寧に行う		
				九州	●	お互い + 協力		
13	くしゃくしゃ	[副](スル) ① 紙・布などを丸めたりもんだりして、しわだらけにするさま。(例:「書き損じた便箋をくしゃくしゃ(と)丸める」など) ② いらいらして気分が晴れないさま。(例:「雨続きで気分がくしゃくしゃする」など) ③ 整っていないさま。雑然としているさま。(例:「くしゃくしゃ目鼻立も」(秋声・露)) ④ 音を立てて物をかむさま。(例:「ガムをくしゃくしゃ(と)かむ」など) [形動] ① 1に同じ。(例:「着物がくしゃくしゃになる」など) ② 顔などがしわだらけなさま。(例:「顔をくしゃくしゃにして泣く」) ③ 形がひどく乱れているさま。(例:「くしゃくしゃな髪の毛」)(小学館デジタル大辞泉より)	複数の意味がある。今回は、心理関係の検討を。	北海道	ア	「優しい」の両手で紙を丸める動き	△ ラベルの追加	「くしゃくしゃ」と「モヤモヤ」をどう区別するか、両方の9班の案を見て検討。 9班の案で、北海道班、東北班、北信越班が、左胸前で表している。手の動きは微妙に違うが、「心理関係の検討を」に合う。 <くしゃくしゃ(気持ち)> ⇒<葛藤>と同じ(左胸前で顔をゆがめた表情で) ※北海道班・東北班・北信越班の案を参考
				東北	◎	<頭または気持ち> + 5指を折り曲げた両手の指先を頭(または左胸)に向けて交互に回す		
				関東	保	両手5指を曲げて指先を腹に当て交互に円を描く		
				北信越	保	頭もしくは胸の位置で両手指を閉じたり開いたり		
				東海	△	頭の横で、両手を開いたり閉じたりする		
				近畿	◎	イライラする様子		
				中国	保	心 + くしゃくしゃ		
				四国	ア	胸の前で 両手5指を折り曲げ上下させる		
				九州	保	くやしい(両手)		
14	モヤモヤ	[副](スル) ① 煙や湯気などが立ちこめるさま。(例:「湯気でモヤモヤ(と)している浴室」など) ② 実体や原因などがはっきりしないさま。(例:「モヤモヤ(と)した記憶」など) ③ 心にわだかまりがあって、さっぱりしないさま。もやもや。 (例:「彼の一言で、モヤモヤが吹っ飛んだ」など) ④ 毛や髪などが群が生えるさま。 ⑤ 色味がむらむらと起るさま。 ⑥ ことごとく言い争うさま。 [名] ① わだかまりがあって心がさっぱりしないこと。(例:「胸のモヤモヤを晴らす」など) ② もめごと。ごたごた。(goo)国語辞書・小学館デジタル大辞泉など)	複数の意味がある。今回は、心理関係の検討を。	北海道	ア	心の場所で「曖昧」	ア アレンジ	「くしゃくしゃ」と「モヤモヤ」をどう区別するか、両方の9班の案を見て検討。「くしゃくしゃ」を「葛藤」の表現にしたことに対し、こちらは「混乱」の表現を使うことに。 <モヤモヤ(気持ち)> ⇒左胸前で小さく「混乱」(「混乱」のアレンジ) ※中国語の案を参考
				東北	◎	胸の前で指を広げて掌を向き合わせ、円を交互に描く		
				関東	保	こめかみ付近で指を曲げた右手の指先を動かす		
				北信越	保	頭もしくは胸の位置で向かい合わせた両手指をグルグル		
				東海	△	抵抗に同じ		
				近畿	◎	指を折り曲げた両手を向かい合わせて、回す		
				中国	保	心 + モヤモヤ		
				四国	ア	胸の前で 両手5指を折り曲げ回転させる		
				九州	保	あいまい		

15	無心	<p>① 無邪気であること。また、そのさま。「一の勝利」「な子供」</p> <p>② 意志・感情などの働かないこと。「一の草木」</p> <p>③ 仏語。 ④ 心の働きの止んでいること。 ⑤ 一切の妄念を離れた心。⇒有心(うしん)。</p> <p>④ 和歌・連歌で、表現などのこっけい・卑俗をわらいとするもの。</p> <p>⑤ 狂歌のこと。和歌を有心(うしん)というのに対していう。</p> <p>⑥ 思慮に欠けること。気が利かないこと。また、そのさま。「さること言はむ人、かへりてならむかし」(枕・一三三)</p> <p>⑦ 情趣を解する心がないこと。また、そのさま。無風流。「一なる女房などの歌よみかけたる」(無名抄)</p> <p>⑧ 思いやりのないこと。また、そのさま。無情。「一に心づきなくてやみなむと」(源・葎木)</p>	<p>複数の意味がある。今回は、心理関係の検討を。</p>	<p>北海道 ● 心 + 頭が空っぽ</p> <p>東北 ◎ 両手掌を頭にあて、手首の回転で後ろに出しながら指先を後ろに向ける + <夢中></p> <p>関東 保 両手指先をこめかみ付近に当てゆっくり後ろに撫でる</p> <p>北信越 ● 心 + 静か</p> <p>東海 ● 頭を指す + さっぱり</p> <p>近畿 ◎ 心 + 静かに両手を平らに広げる</p> <p>中国 ● 心 + 綺麗</p> <p>四国 ア 心を指し 額で / 何もなし /</p> <p>九州 ● 頭 + 無 (プ: 優しくゆっくり表現)</p>	保 保存手話	<p>9班の案を見ると、いろいろな案がある。関東班の保存手話が良いということで意見がまとまった。</p> <p>⇒両手指先をこめかみ付近からゆっくり後ろに撫でる (ゆっくりと種やかな表情で)</p> <p>※関東班の案を採用</p>
16	ぼんくら	<p>ぼんやりして物事の見通しがきかないこと。また、そのような人や、そのさま。(例:「ぼんくらな係員」など) (goo国語辞書より)</p> <p>盆の上での勝負に対する目利きが暗いことから、勝負によく負ける人を賭博用語で「盆暗」と呼んだことが語源とされる。 (語源由来辞典より)</p>		<p>北海道 保 顔の前でつまんだ手を開く</p> <p>東北 保 右手人差指の指先をこめかみにあて、右手2指の輪を頭にたたたく</p> <p>関東 保 軽くつまんだ右手を顔の右前で指を開きながら下げる</p> <p>北信越 保 指文字「ト」をこめかみに当て顔に沿って下げる(富山の手話)</p> <p>東海 ● ボケ + 頭をたたたく</p> <p>近畿 保 頭を指して、指文字の「メ」を雷のように上から降ろす</p> <p>中国 ● 心 + 空っぽ</p> <p>四国 ア 頭を指さし 胸の前で / 空っぽ / 表情重要</p> <p>九州 ● 頭 + のんびり</p>	△ ラベルの追加	<p>9班の案を見ると、それぞれ地域の保存手話があるようで本委員の中でも意見が分かれた。検討した結果、今ある手話<ぼんやり>を採用することに。</p> <p>⇒<ぼんやり>と同じ</p> <p>※班の案の採用なし</p>
17	浅学菲才(せんがくひさい)	<p>学問や知識が浅く未熟で、才能が欠けていること。自分の識見をへり下つていう語として用いられることが多い。</p> <p>「浅学」は学問や知識が浅く未熟なこと。「菲」はもともと野菜の名で、かぶらの種類。転じて、薄い、粗末な、劣ったという意に用いられる。「菲才」は才能のないこと。「菲」は「非」とも書く。(三省堂 新明解四字熟語辞書より)</p>		<p>北海道 ● 知識 + 下がる</p> <p>東北 ◎ <経験> + <不足></p> <p>関東 ● 「勉強」 + 「頭」 + 「足りない」</p> <p>北信越 保 勉強 + 不足 + 自分 (言葉は聞いたことないけど、この意味で普段から使ってるよねほーと、ろう者の意見が一致しました。)</p> <p>東海 ● 勉強 + まだまだ</p> <p>近畿 ● 勉強 + 不足</p> <p>中国 ● 知識 + 足りない</p> <p>四国 ● 頭を指さし + /まだまだ /</p> <p>九州 ● 知識 + 下</p>	● 組み合わせ	<p>9班の案の中で、勉強+不足、勉強+まだまだ と意見が分かれた。「浅学菲才」は、自分をへり下つていうときに使われるので、東海班の案が意味に合う、ということで意見がまとまった。</p> <p>⇒<勉強> + <まだまだ></p> <p>※東海班の案を採用</p>
18	芸人	<p>遊芸や技芸、演芸、芸能を職業とする人をいう。これは、広義には、何らかの遊芸・技芸・演芸・芸能の道に通じている人、または身に備わった遊芸・技芸・演芸・芸能を活用して職業とする人全般を指し、一方で狭義には、お笑い芸人(お笑いタレント)などを指すことが多い。</p> <p>なお、本用語は、上記以外にも、「うちの社員は芸人ぞろいだ!」というように、素人で芸のうまい人や多芸の人を指す場合にも使われる。(生活用語辞典X-Memoryより)</p>		<p>北海道 ● ①プロ + 人 ②芝居 + 人</p> <p>東北 ◎ 左手の指文字「ゲ」 + 逆向きに立てた右手拳の向きをかえながら前後に移動する「劇」</p> <p>関東 ● 「芝居、芸」 + 「人」</p> <p>北信越 ● 芸術 + 人(親指または小指)</p> <p>東海 ● 芸 + 両手で「人」</p> <p>近畿 ● 芸 + 人</p> <p>中国 ● 劇 + 専門</p> <p>四国 ● /芸 / + /人 /</p> <p>九州 保 演劇 + 人</p>	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、プロ、芸術を使う班もあるが、<演劇>を使う班が多い。また、「人」を空書、<~人・~者>のどちらにするか検討した結果、<演劇> + 「人」を空書 とすることに。</p> <p>⇒<演劇> + 「人」を空書</p> <p>※関東班・近畿班・四国班・九州班の案を採用</p>
19	自問自答	<p>自らに問いかけて自ら答えをいうこと。</p> <p>納得がいかなかったことや疑問を、自分自身で反芻(はんすう)すること。また、あれこれ考えて思い悩むこと。(デジタル大辞泉:小学館より)</p> <p>(例:「彼は、自問自答した結果、もう一度頑張る決心をした」など)</p>		<p>北海道 ● 自分に尋ねる + 答える(片手で)</p> <p>東北 ◎ <自分> + 下を向きながら会話をする表現</p> <p>関東 保 「自分、自ら」 + 「考える」</p> <p>北信越 保 反省</p> <p>東海 ○ 両手を指文字「め」にして、反省</p> <p>近畿 ● 自分に聞く + それに対して答える</p> <p>中国 保 見直し</p> <p>四国 ● 自分自身に質問し /考える /</p> <p>九州 ● 自分 + 質問される + 答える</p>	<手話で話す> 保 保存手話 <自問自答> アレンジとの 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、<自省>や、自分に尋ねる表現などがある。「自問」には、自分の心に問いかける」といった意味があるので、左胸を指し、<会話>ではなく手話で話す動作とし、左胸前で小さく表すことで意見がまとまった。</p> <p><手話で話す> ⇒両手<レ>を交互に斜め上へ早く上下させる</p> <p><自問自答> ⇒右手人差指で左胸を指し、続けて左胸前で小さく<手話で話す>(視線は左胸に) (<手話で話す>のアレンジ) ※東北班の案を参考</p>
20	c.血族、姻族	<p>「血族」…生物学的な血縁者を指しており、自分の父母や祖父母、子供や孫、叔父・叔母や甥・姪などが該当する。また、血のつながりがなくても、養子縁組した子供は法律上の血族になる。</p> <p>「婚族」…血族の配偶者、または配偶者の血族を指す。姻族とは、婚姻によって生じた親族関係。(朝日新聞デジタル 相続税理士法人記事より)</p>	参考:<血縁関係(みみ2005年秋号)>	<p>北海道 ア 血縁に肘の所で人々を表す</p> <p>東北 ◎ 左手の指文字「チ」 + 立てた右2指の掌を向き合わせ、右手を揺らしながら下げる</p> <p>関東 ● 血族: 「血」 + 「一族」 姻族: 「結婚」 + 女(男)を指し「一族」 + 「みんな」</p> <p>北信越 ● 血縁関係 + 家族</p> <p>東海 △ 血族に同じ</p> <p>近畿 ア 人 + 他 + 人々</p> <p>中国 ● 夫婦 + 流れ</p> <p>四国 ○ 参考資料の通り</p> <p>九州 ● 非利き手で「や」をつくり甲をみせる + 家族</p>	<血族> アレンジとの 組み合わせ 「姻族」 保留	<p>以前に創った<血縁>(みみ2005年秋号)の手話を参考に「族」を同表現するか検討。<人々><~人・~者>など意見が分かれたが、<宮中晩餐>の2動作目を使うことに。</p> <p><血族> ⇒<血縁> + 残した左手の下方で指先を上に向けた右手で囲むように回す (2動作目は<家族>のアレンジ) ※北海道班・北信越班の案を参考</p>
21	睦月(むつき)	<p>日本の暦の1月。正月に親類一同が集まる、睦び(親しくする)の月。(国立国会図書館HPより)</p> <p>※旧暦では、和風月名(わふうづつめい)と呼ばれる月の和風の呼び名を使用していた。和風月名は旧暦の季節や行事に合わせたもので、現在の暦でも使用されることがあるが、現在の季節感とは1~2ヶ月ほどのずれがある。和風月名の由来については諸説ありますが、以下代表的なものを紹介。</p>		<p>北海道 ● 初めて + 月</p> <p>東北 ◎ 漢字「一」の字形 + 漢字「月」の字形</p> <p>関東 ● 「親しい」 + 「月」</p> <p>北信越 ● 正月 + 月</p> <p>東海 ● 結ぶ + 月</p> <p>近畿 ● 「一」 + 指文字「むつき」</p> <p>中国 ● 集まり + 月</p> <p>四国 ア /友達 / + /月 /</p> <p>九州 ● 親友 + 月</p>	<親睦> △ ラベルの追加 <睦ましい> △ ラベルの追加 <睦月> ● 組み合わせ	<p>日本の旧暦の言い方を大切に、味のある手話をにした。日本語の意味に応じて手話表現を検討した。まずは、9班の案にある表現の標準手話のラベルを確認し、「親睦」「睦ましい」のラベルを作り組み合わせることに。</p> <p><親睦> ⇒<仲間>と同じ</p> <p><睦ましい> ⇒<親しい(仲良し)>と同じ</p> <p><睦月> ⇒<親しい(仲良し)・睦ましい> + <月曜日・月> ※東海班・四国班・九州班の案を採用</p>

22	如月(きさらぎ)	日本の暦の2月。 衣更着(きさらぎ)とも言う。 まだ寒さが残っていて、衣を重ね着する(更に着る)月。	北海道	●	寒い + 着物を着る + 月	● 組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 ⇒<着物を着る>(右・左の順)+<月曜日・月> ※東海班・四国班の案を採用
			東北	◎	漢字「二」の字形+漢字「月」の字形		
			関東	●	「服を着こむ」+「月」		
			北信越	●	重ね着 + 月		
			東海	●	着る + 月		
			近畿	●	「二」+ 指文字「きさらぎ」		
			中国	●	着る + 月		
			四国	ア	/衣を着る/ + /月/		
			九州	●	重ね着 + 月		
23	弥生(やよい)	日本の暦の3月。 木草弥生い茂る(きくさいやおいしげる、草木が生い茂る)月。	北海道	●	草(地面から生える)+ 月	<草が生える> ◎ 創作手話 <弥生> ● 組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班の案を見ると、北海道班の手話が美しいので、単独ラベルも確定したい。 <草が生える> ⇒指先を右に掌を下に向けた左手手首あたりから掌を手前に向けた右手指を開きながら右斜めにゆるやかに弧を描きながら上げていく <弥生> ⇒<草が生える>+<月曜日・月> ※北海道班の案を採用
			東北	◎	漢字「三」の字形+漢字「月」の字形		
			関東	●	「草」+「月」		
			北信越	●	草、草、草 + 月		
			東海	●	草 + 月		
			近畿	●	「三」+ 指文字「やよい」		
			中国	●	草 + 月		
			四国	ア	/草/ + /月/		
			九州	●	草が生える + 月		
24	卯月(うづき)	日本の暦の4月。 卯の花の月。	北海道	●	ウサギ + 月	<花日> 保 保存手話 <卯月> ● 組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班の案を見ると、四国班の卯の花の形の手話がよいという意見があったが、<あわび>に酷似しているため、普通の花の表現とした。 標準手話の<花>は、つぼみが開く動作。実際には、手首を回転させる動作が普及しているので<花日>とする。 <花日> ⇒ずぼめた<花>を前後に回転させて開く <卯月> ⇒<花日>+<月曜日・月> ※東海班・九州班の案を採用
			東北	◎	漢字「四」の字形+漢字「月」の字形		
			関東	●	「花が咲いている」+「月」		
			北信越	●	ウサギ + 月		
			東海	●	花 + 月		
			近畿	●	「四」+ 指文字「うづき」		
			中国	●	小さな花花 + 月		
			四国	◎	/卯の花の形/ + /月/		
			九州	●	花 + 月		
25	皁月(さつき)	日本の暦の5月。 早月(さつき)とも言う。早苗(さなえ)を植える月。	北海道	●	田 + 苗を植える + 月	ア● アレンジとの組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班の案を見ると、田植えの表現が多い。 ⇒<植える>を2回+<月曜日・月> (1動作目は<植える>(1回)のアレンジ) ※関東班・中国版・四国版・九州班の案を採用
			東北	◎	数の単位「5」の字形+漢字「月」の字形		
			関東	●	「苗を植える」+「月」		
			北信越	●	田植え + 月		
			東海	●	植え + 月		
			近畿	●	「五」+ 指文字「さつき」		
			中国	●	植える + 月		
			四国	ア	/田植え/ + /月/		
			九州	●	田植え + 月		
26	水無月(みなづき)	日本の暦の6月。 水の月(「無」は「の」を意味する)で、田に水を引く月の意と言われる。	北海道	●+◎	田 + 水が水田から抜ける様子 + 月	● 組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班の案を見ると、水+月の班もあるが、「田んぼに水を引く月」の意味に合う表現を入れることに。 四国班の2動作目、標準手話の<はびこる>の表現を使うことに。 ⇒<水A>+<はびこる>+<月曜日・月> ※四国班の案を採用
			東北	◎	数の単位「6」の字形+漢字「月」の字形		
			関東	●	「水」+「月」		
			北信越	●	水 + 月		
			東海	●	水 + 月		
			近畿	●	「六」+ 指文字「みなづき」		
			中国	●	水流れ + 月		
			四国	ア	/水面の様子/ + /月/		
			九州	●	水 + 無(両手) + 月		
27	文月(ふみづき・ふづき)	日本の暦の7月。 稲の穂が実る月(穂含月:ほふみづき)	北海道	◎	稲穂 + 月	<(稲が)実る> △ ラベルの追加 <文月> ア● アレンジとの組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班の案を見ると、「文」の漢字を使う班があるが、稲穂の表現が意味に合う。まずは、<稲日>に<(稲が)実る>を追加した。 7月は稲穂が垂れ下がるところまで育てていないので、<稲日>をそのまま使わず、途中で止めることに。 <(稲が)実る> ⇒<稲日>と同じ <文月> ⇒<(稲が)実る>を途中で表す+<月曜日・月> (<稲日>のアレンジ) ※四国班・九州班の案を採用
			東北	◎	数の単位「7」の字形+漢字「月」の字形		
			関東	●	「稲穂」+「月」		
			北信越	●	文 + 月		
			東海	●	文 + 月		
			近畿	●	「七」+ 指文字「ふみづき」		
			中国	●	稲 + 月		
			四国	ア	/稲/ + /月/		
			九州	●	稲穂 + 月		
28	葉月(はづき・はつき)	日本の暦の8月。 木々の葉落ち月(はおちづき)。	北海道	◎	木から葉が落ちる様子 + 月	<落ち葉> 保 保存手話 <葉月> ● 組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班の案を見ると、葉っぱの表現があるが、落ち葉の表現が合う。山梨あたりで以前から使われている、ひらひらと葉が落ちる表現を<落ち葉>とする。 <落ち葉> ⇒掌下向きの両手を並べて置き同時に左右に揺らしながら下ろしていく(葉が散るように) <葉月> ⇒<落ち葉>+<月曜日・月> ※班の案の採用なし
			東北	◎	数の単位「8」の字形+漢字「月」の字形		
			関東	●	葉が落ちる様子 + 「月」		
			北信越	ア	葉っぱ + 月		
			東海	●	葉 + 月		
			近畿	●	「八」+ 指文字「はづき」		
			中国	●	葉落ち + 月		
			四国	ア	/葉/ + /月/		
			九州	●	葉 + 月		

29	長月(ながつき、ながづき)	日本の暦の9月。 夜長月(よながづき)。		北海道	●	夜 + 長い + 月	ア ● アレンジとの 組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班ともほぼ同じ表現だったが、夜が長い具体的表現を考案。 ⇒ 掌下向きの左手小指側から曲げた右手2指を下方に沈めて手前に少し弧を描く(夜が長いイメージ) + <月曜日・月> (1動作目は<日の入り>のアレンジ) ※ 班の案の採用なし
				東北	◎	数の単位「9」の字形+漢字「月」の字形		
				関東	●	「夜」+「長い」+「月」		
				北信越	●	長い + 月		
				東海	●	長い + 月		
				近畿	●	「九」+ 指文字「ながつき」		
				中国	●	夜 + 月		
				四国	ア	/夜/ 右手で長い + /月/		
30	神無月(かんなづき)	日本の暦の10月。 神の月(「無」は「の」を意味する)の意味。全国の神々が出雲大社に集まり、各地の神々が留守になる月という説などもある。		北海道	●	神様 + 集まる + 月	● 組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班の案の中で、神が集まる表現は、拠点をどこにするかによって方向が変わる。北海道班の案がシンプルで良いということ。 ⇒ <神>+<集金(集まる)>+<月曜日・月> ※ 北海道班の案を採用
				東北	◎	数の単位「10」の字形+漢字「月」の字形		
				関東	●	「神」+「月」		
				北信越	●	神 + 月		
				東海	●	神 + 月		
				近畿	●	「十」+ 指文字「かんなづき」		
				中国	●	神集まる + 月		
				四国	ア	/神/ + /集う/ + /月/		
31	霜月(しもつき)	日本の暦の11月。 霜の降る月。		北海道	●	霜 + 月	● 組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班の案を見ると、霜の表現がいろいろあるが、標準手話<霜>があるので、それを使うことに。 ⇒ <霜>+<月曜日・月> ※ 北海道班・四国班の案を採用
				東北	◎	数の単位「11」の字形+漢字「月」の字形		
				関東	●	「白」+ 霜の立つ様子 + 「月」		
				北信越	●	ピカピカ + 月(霜が降りるとびかびか光ってきれいだから)		
				東海	●	両手を少し上にあげ、月		
				近畿	●	「十一」+ 指文字「しもつき」		
				中国	●	霧 + 月		
				四国	ア	/霜/ + /月/		
32	師走(しわす)	日本の暦の12月。 師匠といえども趨走(そうそう、走り回る)する月。		北海道	●	坊主 + 慌てる + 月	● 組み合わせ	「睦月」と同様に、日本語の意味に応じて手話表現を検討した。 9班の案を見ると、四国班の案が分かりやすい。 ⇒ <~長・王>に続けて水平に回す+<月曜日・月> ※ 四国班の案を採用
				東北	◎	数の単位「12」の字形+漢字「月」の字形		
				関東	●	「忙しい」+「月」		
				北信越	保	慌ただしい		
				東海	●	走る + 月		
				近畿	●	「十二」+ 指文字「しわす」		
				中国	●	バタバタ + 月		
				四国	ア	親指を上をあげ 円を描きまわるようす + /月/		
33	一筋	[名] ① 細長い物の1本。一条。 (例:「一筋の髪の毛」「一筋伝わる涙」) ② 一門。一族。 「多くはただこの九条殿の御一なり」(大鏡・師輔) [形動][文][ナリ] ① ただ一つのことを心を傾けるさま。 (例:「芸一筋に生きる」「ろう運動一筋に生きる」) ② 普通の程度であるさま。ひとかた。並大抵。	※学Ⅱ-129にはあるが、標準手話の確定は無し	北海道		確定手話あり但し名刺の場合は状況に合わせて	△ ラベルの追加	9班ともほぼ同じ<まっすぐ>の表現だったが、学習辞典にある<貫く>の表現に合わせることにする。 学習辞典に「一筋」のラベルがあるが、標準手話のラベルがなかったため整合性をとることに。 「涙がひと筋」「髪の毛がひと筋」など状況に合わせた表現が必要との意見もあったが、今後の課題とする。 ⇒ <貫く(一貫)>と同じ ※ 班の案の採用なし
				東北	◎	<数の単位「1」>+<真っ直ぐ>		
				関東	保	指先を前に向けた右手を左手掌の上から前へ出す		
				北信越	△	まっすぐ		
				東海	△	まっすぐ に同じ		
				近畿	◎	細い糸を表す様子		
				中国	△	まっすぐ		
				四国	ア	/長い/ または そのことに集中して進んでいる様子		
34	(ろうあ運動を)けん引	①大きな力で物体を引っ張ること・引き寄せること。 ②大勢の先頭に立って物事を引っ張っていくこと。 (実用日本語表現辞典より)	標準手話<牽引>はあるが、車の種類の表現。故松永 朗本委員を偲んで	北海道	◎	集団を引っ張る様子 立てた左掌を右手拳で引っ張る	△ ラベルの追加	意味の①、車をけん引する標準手話はあるが、意味の②の手話がほしいということで検討した。 9班の案を見ると、北海道班・東海班の案が良いということ。 ⇒ <イニシアチブ>と同じ ※ 北海道班・東海班の案を採用
				東北	保	右手拳を首から右斜め上へ上げる		
				関東	保	両手両肩で「担う」+「集団」を前に動かす		
				北信越	ア	牽引の手話の左(車両を表現)手を5本指を立てる		
				東海	●	右手を握り、左手を引っ張る		
				近畿	◎	引っ張る		
				中国	△	連れる		
				四国	ア	左手指先を右手で引いていく様子		
35	最前線	① 戦場で、敵にいちばん近い戦線。 ② 技術や商品の開発、また販売などの激しい競争が行われている局面。 (例:「半導体開発の最前線」「研究活動最前線」など) (goo国語辞書他より)		北海道	◎	左手の甲を右手でなぞって前に出す	△ ラベルの追加	9班の案を見るといろいろある。東北班や中国班の案から、今ある手話を使えないか検討した結果、<最先端>はどうかということで意見がまとまった。 ⇒ <最先端>と同じ ※ 東北班・中国班の案を参考
				東北	◎	左手の指先の下を右人差し指でくぐらせて前へ出す		
				関東	●、保	A. ●「戦争」+ 甲を上へ広げた両手を前に動かしその前で「線」を引く B. 保「勝負」を上へ動かす		
				北信越	保	左手5本指を立て、右手人差し指を前に出す		
				東海	●	左手を開き、右手で前方に突き出し、指さす		
				近畿	ア	「先頭」をアレンジ		
				中国	●	手 + 指差し追い越し		
				四国	●	一番 /前/		
九州	●	並ぶ + 前へ出る						

36	スポーツジム	<p>「スポーツジム」…トレーニングマシンやランニングマシンなどの機械が設置してあり、主に筋肉トレーニングを行いたい人が利用する施設。</p> <p>「フィットネス」…スポーツジムなどに設置してあるトレーニングマシンが置いてあるだけではなく、プールやスタジオなども含まれた施設となっています。スポーツジムでは筋肉トレーニングが目的の利用がメインであるのに対して、フィットネスクラブではそれだけでなく、ダイエットやリラクゼーション、運動不足の解消など、様々な目的を持った利用者が使用。</p>	<p><ロコモティブシンドローム(2021-82)>の①を使う人も多いが、様々な種類のマシンがある。</p>	北海道 ● スポーツ + ダンベル体操	<p><ジム> △ ラベルの追加</p> <p><スポーツジムA> ● 組み合わせ</p> <p><スポーツジムB> ● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると、「ジム」の動作は、みな、左右交互にダンベルを上下する動作。⇒<ダンベル体操(学Ⅱ-20)>と同じ。</p> <p><スポーツA・B>あるので、それぞれ組み合わせることに。</p> <p><ジム> ⇒<ダンベル体操>と同じ (掌上向きの両手拳を交互に上下させる)</p> <p><スポーツジムA> ⇒<スポーツB>(両手)+<ジム> ※東北班・九州班の案を採用</p> <p><スポーツジムB> ⇒<競技・スポーツC>(両手親指)+<ジム> ※北海道班・近畿班・四国班の案を採用</p>
				東北 ● <スポーツ>+ 両手拳で両胸を同時で上下を2回動かす		
				関東 ● ダンベルを交互に動かす + 「場所」		
				北信越 保 鉄アレイを上げ下げする仕草		
				東海 △ 鍛える に同じ		
				近畿 ● スポーツ + 両手を鍛える		
				中国 △ ジム		
				四国 ● スポーツ / ジム (ダンベル)		
				九州 ● スポーツ + ダンベルをあげる		
				37		
東北 ● <ごちゃごちゃ>+<起こる>						
関東 保 「衝突(向い合せの両手握りこぶしを開いて打ち合わせる)」+「トラブル」						
北信越 保 「混乱」の両手の動きをだんだん大きく(富山の手話)						
東海 △ さわぐ に同じ						
近畿 ア 荒れる様子						
中国 △ 乱れる						
四国 △ 混乱のラベル追加						
九州 ● 両手をうちつける + トラブル						
38	トレッキング	<p>徒歩で旅行や移動をするという意味を持つ「Trek(トレック)」が語源で、山の中を歩くアクティビティのことを指す。</p> <p>登山もトレッキングも同じく山で行うが、必ずしも登山のように山頂を目指すわけではない。(デサントULLA MAGより)</p>	<p><登山・山登り(わ8-193・学Ⅰ-345)> <ハイキング(わ8-193・学Ⅰ-443)> どう区別するか?</p>		北海道 ◎ ストックを持って歩く様子	<p>ア● アレンジとの組み合わせ</p>
				東北 ● <丘>+<登り>		
				関東 ● 低い「山々」+「歩く」		
				北信越 ● 両手にストックを持ち歩く仕草 + 人差し指と中指で歩き回る様子		
				東海 ● 山 + 山 + 歩く		
				近畿 ◎ ストックをついて歩く様子		
				中国 ● トレッキングポール持って歩く姿		
				四国 ア 山をくねらせながら登る様子		
				九州 ● 両手でスティックをもって歩く様子		
				39	温故知新	
東北 ● <繰り返す>+<調べる>						
関東 ● 「改めて」+「調べる」+「知る」						
北信越 過去のことを引き継ぎながら前方を開拓するイメージ						
東海 ● 過去 + うなずく						
近畿 ● 昔を振り返りながら + 新しく発見						
中国 ● 直したり + 見つかる						
四国 ア 顔より後方で/勉強する/を胸前に持ってきて傾き/わかる/						
九州 ● 昔 + そのまま + 変える×2(人差し指)						
40	不安定(天気の場合)	<p>気予報で使われる不安定は「大気の状態が不安定」ということを意味する。</p> <p>大気の状態が不安定とは、強い上昇気流が発生しやすい状態のこと。</p> <p>例えるならば「火種のないガソリン」のようなもので、不安定なだけでは、大雨どころか雨すら降らないということもよく起こる。しかし、上昇気流という火種さえあれば、大爆発ということも。その場合、積乱雲が発生し、ゲリラ雷雨や大雨の原因になるのです。 (ウェザーニューズより)</p>	<p>不安定(天気の場合)という言葉を意味する。</p>			北海道 ◎ 下に向けた両掌を上下に動かす 不安定な様子
				東北 ● <天気>+<波(波型に右から動かす)>		
				関東 ● 広がっていく「雲」+「心配」		
				北信越 ● 天気 + 変化、変化、変化		
				東海 ● 騒動 + 中		
				近畿 保 天候 + ぼんくら		
				中国 ● 天気 + おかしい		
				四国 /天気/ 上を向いたまま手のひらを上下させ不安定の意味		
				九州 保 天気 + あいまい (表情豊かに)		
				41	梨の礫(なしのつぶて)	<p>連絡しても返事のないこと。便りのないこと。</p> <p>語源:投げる小石の意味。投げた小石は返ってこないことから、礫(つぶて)のように音沙汰がないことを「なしのつぶて」というようになった。(語源由来辞典より)</p>
東北 保 口のあたりで右手5指の指先ではじきながら数回繰り返す						
関東 ● 「返事」+「無」						
北信越 保 反応 + 無い						
東海 保 口元で手を開いたり閉じたりする						
近畿 ● 返事 + ゼロ						
中国 ● 返信 無効						
四国 保 口の前で2指を開閉させる						
九州 保 連絡 + ①親指と人さし指で無ブ / 連絡 + ②親指と中指で無ボ						
42	副業	<p>本業以外の仕事で収入を得ること。</p> <p>副業の定義は法律で定められているものではなく、本業以外の仕事を週末にアルバイトをしたり、所定労働時間外に働いたりすることを指す。2018年に厚生労働省が副業・兼業の促進に関するガイドライン(2022年7月改定)を策定。(弥生株式会社HPより)</p>	<p>本業以外の仕事で収入を得ること。</p>			
				東北 ◎ <副>+<仕事>		
				関東 ● 「兼ねる」+「仕事」		
				北信越 保 仕事 + 兼ねる		
				東海 ● 副 + 仕事		
				近畿 ● 副 + 仕事		
				中国 ● 副 + 仕事		
				四国 ● /副/ + /仕事/		
				九州 ● 場所を変えて 仕事 + 仕事		

43	叱咤激励(しったげきれい)	『叱咤』とは「大声で叱ること」であり、『激励』とは「励ますこと」。つまり、『叱咤激励』とは「大声で叱るように励まし、奮い立たせること」(石巻市HPより)目下の人に対して使う言葉で、相手のためになるという意味合いが込められているが、「叱咤」の度が過ぎると、ワハラと受け止められることもあり注意が必要。(例:「監督が選手を叱咤激励する」など)	北海道 ● 叩く + 助ける	● 組み合わせ	9班の案の中に、ピンタや一喝するような表現があるが、強い表現はできれば控えたい。人に対して使いやすい柔らかい表現を検討。 ⇒<戒める>(軽く)+<激励>(2回) ※北海道班・四国班の案を参考
			東北 ◎ <叱る>+<鍛える>		
			関東 ◎ 親指を立てた左手に向かって穏やかに「叱り」、次に持ち上げる。		
			北信越 保 左手親指を立て、右手の平で扇ぐ(ピンタ?)仕草		
			東海 ● 応援 + 励ます		
			近畿 ○ 人 + 叩く		
			中国 ● 人 + 仰ぐ		
			四国 ア 親指を立てその拳あたりをたたく + 助ける		
			九州 ● 支える + 盛り上げる		
44	ラッピング	英語「wrapping」包む、包装するという意味を持つ動詞。また、名詞としては包装紙や包装材を指す。例えば、プレゼントを包む行為や、その際に使用する包装紙などを指すことが多い。(実用日本語表現辞典より) 本来は、「神へのお供え物」は直に置くと汚れてしまうため、敷物を敷き、上にはホコリよけを被せて扱っていた。これこそがラッピングの原点。(ラッピング協会HPより)	北海道 ● 包む + リボン	● 組み合わせ	9班ともほぼ同じ表現。本来は、包む・包装するという意味だが、最近では、プレゼント用にリボンなどをつけるなど、おしゃれなイメージがある。リボンの表現ではないが、<包装>+<結ぶ>とした。標準手話<包装>は指先を左右に向けているが、指先前向きでも可。<結ぶ>も状況に合わせて自由に表現できる。 ⇒<包装>(右・左の順に指先を重ねる)+<結果・結ぶ>(結び方はいろいろOK) ※北海道班・関東班・北信越班・東海班・近畿班・九州班の案を採用
			東北 ◎ 包むしぐさの表現		
			関東 ◎ 箱を包み、リボンを結ぶ様子		
			北信越 ● 包む + リボン		
			東海 ● 包むしぐさ、最後にリボンをかける		
			近畿 ● 包む + 結ぶ		
			中国 保 包む × 2		
			四国 △ 包装する様子		
			九州 ● 包装 + リボンを結ぶ		
45	譲渡	有償・無償を問わず、財産や権利などを他人に移転すること。譲渡の中でも、無償で行われるものは「贈与」、有償で行われるものは「売却」と呼ばれている。譲渡の具体例としては、物の譲渡、知的財産権の譲渡、株式の譲渡、事業譲渡などが挙げられる。(契約ウオッチ基礎知識より) 参考:「譲渡会」…人間の都合により飼育放棄され保護された犬や猫などを、新しい家庭へ送り出すための活動。迷子・飼育放棄、事故、災害で居場所を失った子など、さまざまな事情で保護された犬猫が集まって里親を探している。	北海道 ● (人を表す)人差し指にあげる	ア アレンジ	9班の案を見ると、方向は様々だが<渡す>の表現が多い。意味に合うように「他人に渡す」の手話表現とした。 ⇒人差し指を立てた左手に向けて右手で渡す(<贈る>のアレンジ) ※北海道班・四国班の案を採用
			東北 ◎ <上げるまたは与える>		
			関東 保 軽く5指を曲げて掌上向きにした手を右から左に移動(物を渡す様子)		
			北信越 △ 渡す(どうぞ)		
			東海 ● 両手を上下に置き、前方もしくは後方に移す		
			近畿 △ あげる または もらう		
			中国 △ 譲る		
			四国 ア 左手人差し指を立て 右手であげる様子		
			九州 保 渡す(両手)		
46	ハッカー	元々の意味は、情報技術に長けた人のこと。参考:<ハッキング(2015-23)> ハッカーとは、コンピューター化されたシステムの中で障害を克服する人のことであり、時には目標を達成するために技術的な知識を駆使する人のことだったが、最近では、「ハッカー」という言葉は、常に「セキュリティハッカー」に関連付けられるようになってる。つまり、ハッカーは現在、「通常の方法ではアクセスできない個人、財務、組織の機密情報を取得し、悪用する方法を常に探し求めている人物」を意味するようになっている。(サイバーリーズンより)	北海道 ● ハッキング + 人	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<盗む>を使う班があるが、「ハッカー」の本来の意味は、情報(IT)技術に長けた人のこと。四国班の表現が意味に合う。 人を意味する表現をどうするか検討した結果、四国班の案の通り<~人・~者>を使うことに。 ⇒<ハッキング>+<~人・~者> ※四国班の案を採用
			東北 ◎ 左手の指文字「ハ」+<鍵またはキー>		
			関東 ◎ 「虫」を前に。その手で何かを掴み引き寄せる		
			北信越 ● ハッキング + 盗む		
			東海 ● ハッキング + 男		
			近畿 ○ 「IT」のTから盗む		
			中国 ● 解体 + 盗む + 男		
			四国 ● /アクセス/ 無理やりねじり込む + /片手で人々/		
			九州 ● 非利き手を「C」+ 利き手「悪い」、利き手は分析		
47	激震	① 気象庁旧地震階級の震度7につけられていた名称。 ② 比喩的に、大きな衝撃。(例:「○○界に激震が走る」など)(広辞苑ほかより)	北海道 ● ①地震 + (力の場所ですごい) ②心B+ショックB	<激震A> ● 組み合わせ <激震B> △ ラベルの追加	「A」…地震の階級:震度7 「B」…「政界に激震が走る」といった両方の意味に合う手話表現を検討した。 <激震A> ⇒<地震>+指文字<ム>形を弧を描いて左から右へ動かす ※北海道班・東北班・九州班の案を採用 <激震B> ⇒<ショックB>と同じ ※北海道班の案を参考
			東北 ◎ <地震>+<とてもまたは大変>		
			関東 保 A.前後左右に「地震」+「大」 B.両手で「ショック」		
			北信越 保 「地震」の手話を力強く表現		
			東海 ● とても揺れる		
			近畿 ● すごい + ゆれる		
			中国 ● 揉める + ひどい		
			四国 ● /すごい/ +/地震/		
			九州 ● 地震 + 大きい		
48	心がけ	「心構え(わ4-62)」…ある目的に向けての心の準備。「心がけ」…ある目的に対するものというより、どんな事態にもいつでも対応できるように心の準備をいう。(例:「何事も、日頃の心がけがけだ」「バランスの取れた食生活を心がける」など)(goo国語辞書)	北海道 ● 心 + 詰める	<留める・込める・詰める> ● 保 保存手話 <心がけ> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、北海道班と近畿班の案が意味に合う。1動作目はよく使う手話なので、標準手話のラベルを作ること。※<便秘>と間違わないよう留意するように。 <留める・込める・詰める> ⇒丸めた左手5指の親指側に5指をつまんだ右手の指先を上から入れる <心がけ> ⇒<心日>(人差指で左胸に小さく丸を書く)+<留める・込める・詰める> ※北海道班・近畿班の案を採用
			東北 ◎ <心>+<気をつける>		
			関東 ● 「心」+「注意」		
			北信越 ア 胸を指さし + 胸を軽くトントン叩く		
			東海 ● 心 + 気を付ける		
			近畿 ● ①心 + 注意、②心 + 入れる		
			中国 ● 心 + キッチンと		
			四国 ア 心構えのアレンジ /準備/の表現を細かく移動させる		
			九州 ● 心 + 制度		
49	〇〇萌え	もともと「萌え」は、アニメや漫画が好きな「オタク」と呼ばれる人々が使っていた俗語。人や物に対して熱意のこもった愛情をそそぐ際に使う日本語。愛情とはいつでも必ずしも恋愛感情を伴うわけではない。かわいらしい守りたい・胸がドキドキするといったさまざまな感情が、「萌え」に詰まっている。定義がないため、さまざまな好意的な感情を表すことが可能です。たとえば、「ギャップ萌え」「メカネ萌え」というように特定の趣味趣向を表したり「萌え〜!」と感動詞のように使ったりすることもできる。(WeXpatsより)	北海道 ◎ 両手親指と人差し指でハートを作り目の下にあてる	◎ 創作手話	9班の案を見ると、アニメのキャラクターのポーズだったり、胸キュンの動作だったり楽しそう。本委員の中でも意見が分かれたが、北海道班の表現が素晴らしいことでもとまった。 ⇒両手親指と人差指で作った♡形を数回目の下にあてる(左右に少し揺らしたり、表情の工夫を) ※北海道班の案を採用
			東北 ◎ 左胸あたりで右手握りこぶしを開きながら上げる		
			関東 ◎ 握った両手を掌前向きで肩の位置に。手と顔を逆方向に小さく動かす		
			北信越 「萌え」の仕草		
			東海 ● 両手を結ぶ		
			近畿 ◎ 両手のこぶしを頬にあてる		
			中国 ● 手と手握る		
			四国 ◎ 胸前から顔のあたりま両手をゆらせながら上げる		
			九州 ◎ 両手をグーにして喜びを表現(表情豊かに)		

50	寝言	① 眠っている間に無意識に発する言葉。 ② 訳のわからない言葉。ばかばかしい言い分。たわごと。 (例:「そんな寝言を並べたって始まらない」など) (goo国語辞書より)	<寝言(わ8-132)>があるが、ろう者の場合は?	北海道	○	左手「寝る」同時に右手で「手話」	ア アレンジ	今ある標準手話<寝言>は口でしゃべる動作。聞こえない人の寝言は手話のため、それに合わせた表現を作りたい。 <手話で話す>にするか<手話>にするか検討した結果、<手話>を使うことに。 ⇒<寝言>の右手を<手話>に変えて(2指・5指どちらでもOK) ※北海道班・関東班・北信越班・班の案を採用
				東北	◎	<寝る>+<手話>		
				関東	●	「寝る」+「手話」		
				北信越	ア	寝る + 手話		
				東海	●	左手で寝て、右手で話す		
				近畿	●	寝る + 手話で話す		
				中国	●	寝ながら手話		
				四国	●	左手は/寝る/ + 右手で/言う(または手話)		
九州	●	①寝る + 話す(手話) / ②寝る + 言う						
51	阿吽の呼吸	2人以上で物事を行う際に息が合っていることを表します。言葉がなくても意思の疎通ができており、タイミングや間合いがお互いに一致している状態を指す慣用語。 (小学館デジタル大辞泉より) 「阿吽の呼吸」に含まれる「阿吽」は、仏教用語の「真言」(仏の真実の言葉)です。語源となっているのはサンスクリット語で、インドから中国を経て日本に伝わったとされている。	保存手話がないかな～	北海道	◎	体の横で両手で作った視線を合わせ、うなずくように下に下ろす	<目を合わせる> 保 保存手話 <阿吽の呼吸> ア● アレンジとの組み合わせ	<目を合わせる> ⇒前に向けて伸ばした両手2指を手首を返してむき合わせる <阿吽の呼吸> ⇒<目を合わせる>+両手を残し、分かったように1回うなずく (相手の気持ちを察するような表情で) ※四国班の案を採用
				東北	◎	指先を前にした両手人差指を向き合わせる+<認める>		
				関東	保	両手の指先を外から内側に同時に動かし一致させる		
				北信越	●	考え + 一致		
				東海	●	両手で目を合わせ、うなずく		
				近畿	保	頭を指して、一致する		
				中国	●	うなずき + ピックリ		
				四国	◎	視線を合わせて 頷く		
九州	●	合う×2(優しく)口形:ポ						
52	起死回生(きしかいせい)	死にかけているものを生き返らせるという意味で、滅びかかっているものを再び元に戻すこと。見込みのない状態から再び力を盛り返させることをさしている。 (例:「起死回生のさよなら逆転ホームラン」など) (イミダス スピーチに役立つ四字熟語辞典より)	<捲土重来(2-15-70)>(一度失敗した後に再び巻き返す)の類語?	北海道	●	生きる + 生き返る	保留	本委員の中でも意見が分かれた。次回改めて検討することに。今回は保留。
				東北	◎	寝かせてつけ合わせた両手拳を引き起こして立てる		
				関東	保	「勝負」で負ける(ゆっくり)寸前に逆転勝ち		
				北信越	●	危機 + 復活		
				東海	●	最後 + 逆転		
				近畿	◎	死んでいくところが、生き返る		
				中国	保	戻す 表情付き		
				四国	ア	両手拳上下に重ね 右手落として、くねらせながら再び重ねる		
九州	ア	負けそうになるが打ち負かす						
53	冷静沈着(れいせいしらんちゃく)	何事にも動じずに、落ち着いていること。「冷静」と「沈着」はどちらも、何事にも動じることなく落ち着いていることで、似た意味の語を重ねて強調した言葉。「沈着冷静」ともいう。(四字熟語辞典オンラインより)	試合前の選手の状況など	北海道	○	左手「静か」同時に右手「落ち着く」	<冷静日> 保 保存手話 <冷静沈着> ● 組み合わせ	9班の報告書では、「落ち着く」(掌の向きが上下、両方ある)だけの班があるが、ちょっと表現が足りない。「新日本語-手話辞典」の<冷(さ)める②>が、以前から気を落ち着かせる意味で使われているので、加えてはどうかということ意見がまとまった。 <冷静日> ⇒顔の両脇で指先後ろ向きの両手4指をゆっくり息を吐きながら下す <冷静沈着> ⇒<冷静日>+続けて<おちつく>(掌下向き) ※東北班・近畿班の案を参考
				東北	◎	<落ち着く>		
				関東	保	掌上向きで「落ち着く」をゆっくり表現		
				北信越	●	掌下向きで下げる-掌上向きで下げる		
				東海	△	落ち着く に同じ		
				近畿	ア	「落ち着く」ゆっくり表現する		
				中国	保	落ち着き		
				四国	ア	/落ち着く/を素早く素早く表現		
九州	保	落ち着く						
54	応急措置	さし迫った事態に際し、被害を最小限に食い止めるためにうつ、とりあえずの処置(対応)。 ※「措置」は、物事をうまくとりはからって始末すること。(学研四字熟語辞典より)	<応急処置(わ4-159)>はあるが意味が異なる	北海道	ア	応急処置の二番目の動作を措置に変更	<応急・早く> 保 保存手話 <応急措置> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、<応急処置>の1動作目を使う班が多い。この表現は、九州などでは「早く」の意味で使われているので、単独ラベルを作ること。 <応急・早く> ⇒<応急処置(わ4-159・学I-166)>の1動作目 <応急・早く>を使うかどうか意見が分かれたが、急ぎの措置の意味ではなく、とりあえずの意味なので、<例えば・仮>が意味に合うということ意見がまとまった。 <応急措置> ⇒<例えば・仮>+<措置> ※近畿班・中国班の案を参考
				東北	◎	<急ぐ>+<方法または手段>		
				関東	●	「即、急」+「処理」		
				北信越	●	「応急処置」の「応急」+ 措置		
				東海	●	応急 + 対応		
				近畿	●	仮 + 解決		
				中国	●	仮 + 対応		
				四国	●	/応急/ + /措置/		
九州	●	急ぐ + 解決						
55	別格	特別な地位や扱いを表す言葉。ランクが違ふ。定められている形式に拘束されないこと。特別の取り扱いをすること。(例:「別格の待遇を受ける」「彼女の演技力は別格だ」など) (語彙力.comより)		北海道	△	掌を上上げる「上、先輩」に追加 ~+別格と使う	● 組み合わせ	9班の案を見ると、いろいろある。関東班日の1動作目<腕利き・敏腕(2016年度確定)>が合う方が意味に合う、ということ意見がまとまった。 ⇒<腕利き・敏腕>+<先輩・上B> ※関東班日の案を採用 (北海道班の説明動画の中でも使っている)
				東北	◎	<最高またはベスト>		
				関東	●、◎	A.●「特別」+「取り扱い」 B.◎右手で左腕に触れる。掌上で左手を上にかかす		
				北信越	保	自分と比べて相手が上		
				東海	△	すごい に同じ		
				近畿	ア	上にあがる様子		
				中国	保	上がる 表情付き		
				四国	ア	左手に右手指先を当て離す(別である意味)+ 上にあがる		
九州	●	特別 + 最高						